

「弁当の日」がきます

箕郷中学校食育推進委員会

P T A 学校保健給食委員会委員長 上林忠夫

実りの秋、食欲の秋も冬に向かって進んでいます。

箕郷中学校では、この時期「弁当の日」を設け、食育について考えています。生徒さんや、先生方、そして保護者のみなさんと一緒に、食材や健康な体づくりについて考えていこうと思っています。私たちの体をつくる食材は、それを作る人、飼育する人、魚を捕る人、運ぶ人、提供する人たちなどの手を借りて、私たちの手元に得ることができます。そして、その食材を加工し、料理して初めて、食べることができます。

料理が得意な人、苦手な人、食べるのが専門の人、ご家庭で、この「弁当の日」を活用して、食育について考えてみてください。家庭で食事を作っている方への感謝が増すと思います。食事を作っている方の愛情を感じて、家族の絆（きずな）についても確かめてください。私たち食育推進委員会では子どもたちの豊かな食体験を提供できるよう家庭・学校・地域との連携を図っていきます。

「弁当の日」は 11月21日(月)

約束は

- ・ お子さんが自分の力で、メニューを考え、料理し、片付けます。
- ・ 家の方は、サポーター、アドバイザーです。

昨年度は、次のような声を聞きました。

- 「家の方は我が子を見直しました」
- 「料理を作ってくれて、いつもありがとう」
- 「料理って見た目も大事なんですね」
- 「学校で勉強したことを生かせた」
- 「料理に目覚めた」など。



元祖「弁当の日」の竹下先生は…

- 「子どもは、大人が考えている以上に一人前になろうとしている」…任せてくれた！→自立
 - 「親に大切にされる存在であることを確認しようとしている」…見守ってくれている→自立
- ※「自立」は親子にとっての一大イベントなのかもしれませんね。